

セグロウリミバエが発見されました！

沖縄本島北部地域において令和6年3月、海外から侵入した農作物の害虫
セグロウリミバエがトラップ調査により発見されました。

本種がまん延すると農作物に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、防除を実施しております。皆様の**防除へのご協力をお願いいたします。**

体長 8～9 mm



セグロウリミバエ



体長 7.5～9 mm

ウリ科果実から
出てきた**ウジ**(幼虫)

寄生する果実

ウリ類(ゴーヤー・
ヘチマ・モーウイ・
かぼちゃ・スイカ・
メロン・トウガン・
きゅうりなど)・
その他

防除のおもな内容

1) 果実のサンプリング調査を実施しています

*家庭菜園等も対象となります。



2) 寄生果発見地の対象作物を除去しています

*所有者の同意を得て行います。



3) 寄生果発見地周辺で 殺虫剤を散布します

*人畜に対して安全性の高い
薬剤を使用しています。
(1週間に1回程度のペース)

ウリミバエ対策も行います

ウリミバエは1993年に根絶されていますが、かつて沖縄県で農作物に大被害をもたらした大害虫です。

セグロウリミバエと一緒に再侵入している恐れがあるため、ウリミバエの対策も同時におこなっています。

【実施する防除方法】

●ウリミバエ不妊虫の放飼(散布)

*不妊虫による作物への食害はありません



ウリミバエ



人力での放飼(左)と放飼された成虫(右)

不妊虫放飼作業



カゴ放飼(蛹)

触った
りしな
いでね
！



連絡先

▶北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752

▶中部農業改良普及センター : 098-894-6521

セグロウリミバエのまん延を防ぐため・・・

生産者(農家)の皆様へのおねがい



- ①施設栽培では、防虫ネットのメンテナンスや入口の二重カーテン等で虫の侵入を防ぎましょう

(他の病害虫の防除にもつながります)



- ②栽培の終了した作物は、速やかに片づけましょう

放置された果実からも多くの幼虫や蛹が見つかっています！



収穫後の畑に果実を放置しない！

- ③不要な果実は集めて埋設するか、ビニール袋に入れて密閉し虫を死滅させるなどして、虫の侵入拡大を防ぎましょう



→ビニール袋に入れてねじって固く縛り、テープでしっかり閉じて密閉する

- ④適切な薬剤防除により虫の侵入を防ぎましょう



★植物防疫法に基づき散布できる農薬のリストがあります。(侵入地域に限る)

★詳しくは下記連絡先にお問い合わせください

- ⑤もしウリ類果実の中にウジ(幼虫)を見つけたら、すぐに下記に御連絡下さい。



詳しくはこちら！



沖縄県病害虫
防除技術センター
ホームページ



連絡先

- ▶沖縄県病害虫防除技術センター : 098-886-3880
▶北部農林水産振興センター農業改良普及課 : 0980-52-2752
▶中部農業改良普及センター : 098-894-6521